

学校評価(平成23年度) I

<p>① 設定目標 【ねらい】</p>	<p>【ア;情報を伝える。説明する。考えや思いを聞く。】 ◎教育の方針や活動状況を児童・保護者・地域の人々に適切に伝える。 ◎児童・保護者・地域の人々の願いや思いを、学校がしっかりと受け止める。</p>
<p>② 本年度の 取り組み状 況</p>	<p>○たより・通信(学校、学年、学級、保健、献立、図書館等)を発行する。 ○学校HPに日頃の児童の様子、行事予定、手続き等を掲載する。 ○学校教育説明会、宿泊行事説明会、入学説明会等を実施する。 ○通知表『あゆみ』を工夫する。家庭訪問・個人懇談等の機会あるごとに学習内容・評価を保護者に伝える。</p>
<p>③学校教 育自己診 断・授業評 価等定量 的評価及 び定性的 自己評価 内容</p>	<p>本年度は自己評価のまとめ方を変えた。児童・保護者・地域に説明することや意見・要望を聞かせていただくことなどを、この分類に集約した。 関係するアンケート項目は以下の4項目である。項目文末の( )内は昨年度と本年度のA「とてもそう思う」B「だいたいそう思う」の合計である。保護者集計は( )に、児童集計は&lt; &gt;に、教職員集計は&lt;&lt; &gt;&gt;に入れた。いずれも(昨年度、本年度)の順とした。</p> <p>(1-1)学校は教育方針や指導の様子を分かりやすく伝えている。 (82%、72%) &lt; 86%、65% &gt; &lt;&lt; 92%、67% &gt;&gt;</p> <p>(1-3)学校は、保護者や地域の人たちの願いを受け止めて取り組んでいる。 (77%、68%) &lt; 88%、84% &gt; &lt;&lt; 92%、80% &gt;&gt;</p> <p>(2-4)通知表の評価や記録は適切で分かりやすい。 (88%、74%) &lt; 84%、88% &gt; &lt;&lt; 86%、93% &gt;&gt;</p> <p>(3-1)学校には、悩みや心身の健康等を相談しやすい先生がいる。 (45%、40%) &lt; 81%、76% &gt; &lt;&lt; 93%、60% &gt;&gt;</p> <p>いずれの項目も、保護者からは昨年度より本年度の方が厳しい評価をいただいた。特に(3-1)では、「相談しやすい教職員がいない」という声が大きい。昨年度・本年度とも低評価であることを踏まえ、教職員研修の強化などの組織改善に取り組む。</p>
<p>④学校関 係者評価 (学校協議 会等からの 提言)</p>	<p>学校からの情報発信の頻度を高めることによって学校への理解度は高まると考えられる。学校でなされている教育活動の内容を知ることによって、保護者や地域の人々は学校への信頼感を持つとともに、それが児童の安心感につながるのではないかと。</p> <p>HPの更新もその一つであり、いつ見ても何か新しい内容があるWebサイトにすることで多くの人をもっと関心を持つことにつながり、双方向の情報共有が可能になると考えられる。</p>

学校評価(平成23年度)Ⅱ

<p>① 設定目標 【ねらい】</p>	<p>【イ;仲間をつなぐ。集団を育てる。地域連携を深める。】</p> <p>◎思いを仲間と共有する、お互いのよさを認め合う、集団・社会のルールを大切にす る児童を育てる。人権教育をすべての教育活動の基盤において取り組む。</p> <p>◎地域の方との交流を大切にし、豊かな文化の育成を目指す。</p> <p>◎義務教育9年間の子どもの育ちを見守り、支援する。</p>
<p>② 本年度の 取り組み状 況</p>	<p>○「生活アンケート」等を活用し、いじめの根絶・集団意識の醸成を進める。</p> <p>○児童朝会等を活用して、集団を育成するための全校指導を実施する。児童会に よる挨拶運動を進める。</p> <p>○保・幼との交流、地域施設の方と交流、地域ボランティアの方と学習・体験活動を行 なう。きょうだい学年との交流を進める。</p> <p>○登校班への指導(毎月3日間)、見守りデー(毎月1回)・地区児童会(学期の初・ 末)等による下校指導を実施する。</p> <p>○中学校から小学校へ;6年社会・音楽、5年体育。小から中へ;中1理科</p> <p>○教職員交流会、児童・生徒が触れ合う場(授業・クラブ体験、入学説明会等)。</p>
<p>③学校教 育自己診 断・授業評 価等定量 的評価及 び定性的 自己評価 内容</p>	<p>関係するアンケート項目は以下の6項目である。項目文末の( )内は昨年度と本年 度のA「とてもそう思う」B「だいたいそう思う」の合計である。保護者集計は( )に、児 童集計は&lt;&gt;に、教職員集計は&lt;&lt;&gt;&gt;に入れた。いずれも(昨年度、本年度)の順と した。</p> <p>(1-2)子どもは学校を楽しく感じている。 (85%、88%)&lt;94%、83%&gt;&lt;&lt;100%、67%&gt;&gt;</p> <p>(1-4)児童会の朝の挨拶運動などは子どもたちの意識を高めている。 (62%、83%)&lt;97%、78%&gt;&lt;&lt;79%、80%&gt;&gt;</p> <p>(1-5)中学校の先生が6年生に社会や音楽、5年生に体育など教科を教える小中連 携は、効果がある。(88%、80%)&lt;85%、84%&gt;&lt;&lt;50%、40%&gt;&gt;</p> <p>(1-6)学校は、地域のボランティアの方たちと協力して教育活動を進めている。 (91%、86%)&lt;87%、82%&gt;&lt;&lt;86%、80%&gt;&gt;</p> <p>(3-2)学校はいじめや子どもが困っていることについてしっかり取り組んでいる。 (68%、42%)&lt;79%、77%&gt;&lt;&lt;100%、67%&gt;&gt;</p> <p>(3-3)学校は学習や生活のきまりをしっかり指導している。 (74%、66%)&lt;87%、83%&gt;&lt;&lt;79%、73%&gt;&gt;</p> <p>(1-2)の児童による評価の低調が目立つ。「学校を楽しく感じている」児童が10%の 減少となった。(3-2)の保護者評価は大きく落ち込み、大変に厳しい結果となった。 安心してお任せいただける組織改善に取り組む。</p>
<p>④学校関 係者評価 (学校協議 会等からの 提言)</p>	<p>あいさつ運動は東能勢校区の宝物だと考える。これからもしっかり進めていただき たい。いじめや子どもが困っていることについての取り組みは決して後退しているとは 思われないが、校内の教育相談について具体的にどのようなシステムになっており、 どのように教育相談を進めているのかを、子どもや保護者にわかりやすく周知するこ とが必要である。</p>

学校評価(平成23年度)Ⅲ

<p>① 設定目標 【ねらい】</p>	<p>【ウ;学習を組織する。意欲を育てる。】 ◎学力の向上を目指し、学習における基礎・基本の定着を図る。 ◎教育課程の実施状況に関する自己評価に関わる研究を進める。</p>
<p>② 本年度の 取り組み状 況</p>	<p>○加配教員・専科教員等を活用したTT・分割(習熟度別も含む)の実施 ○中学校教員による小学校高学年への授業 ○授業参観・研究授業にて保護者・児童・教職員の授業評価を実施 ○朝の全校一斉活動(8:35～8:50)朝読書、朝レク等 ○1学期保護者懇談の日に補充学習を実施 ○「全国学力・学習状況調査」「学校教育自己診断」「授業アンケート」等を実施・活用する。 ○校内にて国語・算数学力実態調査を実施・活用する。 ○大学から講師を招いて『書くこと』をテーマとした授業研究を行う。</p>
<p>③学校教 育自己診 断・授業評 価等定量 的評価及 び定性的 自己評価 内容</p>	<p>関係するアンケート項目は以下の2項目である。項目文末の( )内は昨年度と本年度のA「とてもそう思う」B「だいたいそう思う」の合計である。保護者集計は( )に、児童集計は&lt;&gt;に、教職員集計は&lt;&lt;&gt;&gt;に入れた。いずれも(昨年度、本年度)の順とした。</p> <p>(2-1)学校の算数の少人数指導(分割やTT等)は、学力向上に役立っている。 (77%、75%)&lt;90%、80%&gt;&lt;&lt;100%、47%&gt;&gt;</p> <p>(2-2)学校の国語の少人数指導(分割やTT等)は、学力向上に役立っている。 (84%、74%)&lt;94%、84%&gt;&lt;&lt;86%、33%&gt;&gt;</p> <p>校内では国語を研究テーマとして研修会を設定してきた。保護者の評価によれば算数よりも本年度の国語の方が低評価となった。児童から見ると、国語・算数とも今年の方が10%ほど低評価であり、算数が国語を下回っている。両教科の授業研究を更に深める。</p>
<p>④学校関 係者評価 (学校協議 会等からの 提言)</p>	<p>子どもたちの学力に対する意識を高めるための取り組みを充実させることが大切だと思う。そのためには、小中連携による指導体制の確立や、読書指導の充実、そして何よりも一人ひとりの子どもの学力の到達度をきちんと評価し、個に応じた学力保障の取り組みを進める必要がある。</p>

学校評価(平成23年度)Ⅳ

<p>① 設定目標 【ねらい】</p>	<p>【エ;心身の健康を増進させる。】 ◎心身の健康・食・安全について考え、スポーツを楽しむ児童を育成する。 ◎命や体を大切にし、生活の向上を目指す児童を育てる。</p>
<p>② 本年度の 取り組み状 況</p>	<p>○毎週金曜日に「朝レク」を実施する。 ○ランチルームの活用、朝食アンケート(1学期)、交流給食(年間3回)を実施する。 ○避難訓練(不審者6/10、火災10/17、地震1/17)を実施する。 ○安全・安心な学校づくりを再検討し徹底する。 ○北館中央トイレを改装し快適な学校作りを行う。</p>
<p>③学校教 育自己診 断・授業評 価等定量 的評価及 び定性的 自己評価 内容</p>	<p>関係するアンケート項目は以下の2項目である。項目文末の( )内は昨年度と本年度のA「とてもそう思う」B「だいたいそう思う」の合計である。保護者集計は( )に、児童集計は&lt;&gt;に、教職員集計は&lt;&lt;&gt;&gt;に入れた。いずれも(昨年度、本年度)の順とした。</p> <p>(1-7)学校は、子どもたちの安全確保や家庭への緊急連絡等に適切に対応している。(85%、79%)&lt;92%、86%&gt;&lt;&lt;100%、93%&gt;&gt;</p> <p>(2-3)学校は子どもたちの体力を高めるためにしっかり取り組んでいる。(63%、70%)&lt;78%、82%&gt;&lt;&lt;64%、60%&gt;&gt;</p> <p>(1-7)安全に関してはいずれの評価も本年度が昨年度をいくらか下回った。日頃の安心感を作りだすことを心がける。マニュアルの更新に取り組む。</p> <p>(2-3)体力作りには保護者から好評価をいただいた。さらに工夫改善を重ねる。児童からも好評価となり、A「とてもそう思う」が15%ほど増えている。</p>
<p>④学校関 係者評価 (学校協議 会等からの 提言)</p>	<p>心の健康とともに体力は様々な活動の源であり、人間の発達・成長に欠かせない基本的な要素であることを、様々な教育活動の中で子どもたちに学ばせるとともに、保護者に対しても健康の三原則の確立のために、家庭における子どもの健全な生活習慣について学校と保護者が情報交換をしていくことが大切である。</p>